



新年あけまして おめでとうございます。



昨年末は、福岡市長選挙、衆議院選挙とこれからの市政や国政の方向性を示す重要な選挙が続きました。衆議院選挙において、安倍首相は「この道しかない」と経済政策「アベノミクス」の継続を訴え、信任されたと言っています。しかし、各種調査では、景気回復の実感なし、集团的自衛権の行使反対、原発再稼働反対、TPP参加反対、辺野古新基地建設反対という国民の声は多数であり、国論を二分する重要課題まで信任されたわけではありません。今後、集团的自衛権行使に関わって自衛隊法改正等の法制論議や働く者の権利に関わる労働法制の論議、さらには原発再稼働の動きが加速することが予測されます。「国政のことは、国会に任せておけばよい」から脱し、地方から疑義の声をあげ、行動してまいります。

2015年度予算編成に対する要望書提出

昨年11月の福岡市長選挙において高島市長が再選されました。わが社民・市政クラブ福岡市議団は、12月10日に、高島市長に「平和都市の確立」「笑顔で暮らせる福祉都市の実現」「産業の振興と雇用確保」「福岡市総合計画・行財政改革」「国家戦略特区への対応」等の視点から、61項目の要望を提出しました。



とりわけ、市長が進める国家戦略特区「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」構想においては、労働規制の緩和策により、雇

の流動化による不安定雇用層の増加を招く恐れが大であることからチェック機能の強化を要望しました。また、財政健全化の名の下に子育てや福祉、教育等の公共サービスの低下を招くことのないよう市民や議会の声を真摯に受け止め、諸課題の解決を図られるよう強く要請しました。

第5回福岡市議会 12月定例会

(2014年12月15日～24日)

24日最終本会議において、市職員給与改正条例案や生活困窮者自立支援制度に関わる経費、就学援助支給前倒し追加等を含めた補正予算等、64議案並びに印鑑条例の改正条例案や学校校舎校庭使用料の改正条例案を可決承認し閉会しました。

私は、17日(水)「高齢者見守り支援事業」と「公立夜間中学校設置に向けての今後の対応」の2点について質問に立ち、意見を交わしました。また、最終日には「40人学級復活検討に反対し、35人学級の拡充を求める意見書案」を提案し、賛成多数で採択されました。

その他、以下の意見書・決議が採択されました。

- CLT(直交集成板)普及促進による林業・木材産業の活性化を求める意見書(全会派賛成可決)
- 暴力団による暴力の根絶に関する決議(全会派賛成可決)

決算特別委員会

(2014年10月8日～24日)

10月8日に開会された決算特別委員会での総会質疑では、「乗り入れブロック撤去に関わる問題について」、学校教育の充実の観点から「教職員の超過勤務問題」並びに「小中学校における少人数学級の推進」の3点について質問に立ちました。(3面に関連記事)

今後とも、地域の皆さまの声を市政に届け、「笑顔があふれるまち」づくりに向けて行動してまいります。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また、この一年が皆さまにとりまして幸多き希望あふれる年でありますよう祈念申し上げます。

寒さが一段と厳しくなります。どうぞご自愛ください。

高齢者見守りキーホルダーの導入を

【質問の主な内容】



12月定例会にて

われ、2013年12月より認知症高齢者の徘徊への対応として「徘徊高齢者捜してメール」事業がおこなわれているが、高齢者夫婦のみ世帯や単独世帯が増えている中、外出先で救急搬送された際の対策も必要だ。

東京都大田区では、このような問題の対策として、65歳以上すべての方を対象に「高齢者見守りキーホルダー」システムを導入し、高齢者が安心して外出できる仕組みで成果を上げている。

本市でも「高齢者見守りキーホルダー」の導入を検討すべきと考える。

2010年国勢調査によると福岡市内の65歳以上の夫婦のみ世帯数、単独世帯数は、それぞれ37,737世帯、59,995世帯になっており、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるための環境づくりが急務だ。

本市では、「ふれあいネットワーク」「安心情報キット」「緊急通報システム」「見守りダイヤル」事業等が行



東京都大田区の「高齢者見守りキーホルダー」。本人の登録番号と地域包括センターの電話番号が書かれており、発見者がセンターに連絡すると、緊急連絡先が分かるようになっています。

大田区福祉部 高齢福祉課を訪問

東京都大田区では、外出先で高齢者が事故にあったり、急病で倒れたり、行方不明時の対応として、キーホルダーを活用したシステムを導入しています。

昨年11月28日、大田区福祉部高齢福祉課を尋ね、高齢者見守りキーホルダーシステムの導入の経緯や事業内容、そして成果と課題等を伺いました。



【保健福祉局長答弁】

高齢者の見守りは重層的に取り組む必要があり、ご指摘の「高齢者見守りキーホルダー」についても、有効な手段の一つであると認識している。

今後、大田区の「高齢者見守りキーホルダー」をはじめ、他都市の事業も参考にしつつ、福岡の高齢者の生活に適した携帯型の見守りツールについても検討していく。

公立夜間中学校の設置を

【質問の主な内容】

夜間学級は、戦後の混乱と貧しさの中で、家計を支えるため、昼間は学校に通うのが困難な子ども達のために全国87校に開設された。

2014年9月現在、東京都や神奈川県、大阪府、広島県等8都府県に31校あり、中学を卒業できなかった日本人の高齢者や障がい者、不登校やひきこもりの若者、中国残留孤児の家族、在日韓国・朝鮮人、国際結婚や仕事で来日した外国人やその家族ら1,951名が学んでいる。

しかし、九州・山口には一校もなく、退職教職員や現任教職員、学生ボランティア等が自主運営する「自主夜間学級」が福岡市・北九州市に計3学級あるのみ。

2010年国勢調査によると、全国の義務教育未修了者は12万8,187人、うち福岡市には、1,842人の義務教育未修了者がいる。2014年6月、衆議院文部科学委員会の中で、下村文科大臣は「少なくとも各都道府県に一つぐらいは設置することを考える必要がある」と答弁している。

福岡市にも公立夜間中学校の設置と「自主夜間学級」の助成を含め義務教育未修了者の「学ぶ場」を保障する必要がある。

文科省は、未設置の道・県と政令市に「中学校夜間学級の充実・改善等への取り組み事業」の調査を行う予定だ。調査検討に当たっては、不登校のまま義務教育を終えた生徒の進路の状況や、義務教育未修了者の把握を的確に行うとともに、学びの場を創り支援している関係者等の声を十分に反映させるべきと考える。



足立区立第四中学校夜間学級を訪問



自主夜間学級「よみかき教室」(千代中学校)

【教育長答弁】

公立中学校夜間学級については、他の自治体の公立中学校夜間学級の状況に関する情報収集を行い、国や政令指定都市の動向等を注視するとともに、関係者のご意見も伺いながら調査研究していく。

教職員の超過勤務問題

【質問の主な内容】

学校現場の多忙化は、様々な要因が考えられるが、その一つは、価値観の多様化などに伴って、児童生徒への指導や保護者への対応に以前にも増して神経を使うようになるなど、これまでの経験や知識だけでは対処しき



れない事例が増え、精神的な負担を感じる場面が増えてきている。

また、授業の他、会議や研修、校務分掌など多岐にわたる分担業務の多さといじめ問題や不登校等の問題をはじめ、突発的に起こる問題行動への対応等もある。多忙化を解消するためには、学校現場だけの取り組みでは抜本的な解消は難しい。よりよい教育を行うためには教職員同士の十分な連携が必要であり、学校現場にゆとりを生み出すことが肝要だ。

教職員が本来の業務である授業や生徒指導等常に創意工夫を凝らし、子どもと向き合う時間をより確保して、意欲的に働きやすい環境をつくりだすこと、そのためにも教職員の多忙化の解消・改善が喫緊の課題だ。

【教育長答弁】

業務の効率化を図るため、全教職員へのパソコン整備をはじめ、様々な教職員の事務負担軽減に取り組んできた。校務支援システムの平成27年4月からの全校展開、学校事務の事務処理体制の効率化・適正化に向けた取り組みなど、教職員が子どもと向き合う時間を確保するための環境づくりをさらに進める。

小・中学校における少人数学級の推進

【質問の主な内容】

今、学校や子どもたちを取り巻く環境は複雑化・困難化しており、いじめ問題や暴力行為等の問題行動の発生、特別な支援を必要とする児童・生徒の増加、不登校の子どもの割合増加等の状況が見られる。これらの課題を解消するためにも、一人ひとりの子どもに寄り添い、彼らのSOSをより早くキャッチするためにも早期の少人数学級の実現が求められている。

市長は、これまで議会の場で「福岡市がアジアのリーダー都市を目指していくには、将来を担う、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成や教育環境の整備が大変重要である」と答弁されている。

しかし、市長就任以来、過去3年間の本市の一般会計決算額に占める教育費の決算額とその比率は、2012年度から博物館、美術館などの文化関係経費が教育費から分離したという要素はあ

るにしても、2011年度：約498億円(6.5%)、2012年度475億円(6.3%)、2013年度約478億円(6.2%)と減少している。

■福岡市一般会計決算額に占める教育費の決算額と会計比率 (円)

年 度	市一般会計	教育費	教育費の比率
2010年度決算額	7528億5233万1千	513億1534万7千	6.8%
2011年度決算額	7637億9183万7千	498億2500万9千	6.5%
2012年度決算額	7523億1116万3千	474億9324万2千	6.3%
2013年度決算額	7668億2928万8千	477億7542万5千	6.2%
2014年度予算額	7763億4000万0千	510億1950万9千	6.6%

本市では小学校1～4年生まで、また、学校選択制ではあるが、中学校1年生でも少人数学級が実施され、学校現場の先生からも、子どもたち一人一人に目が行き届き、学習のつまずきが早く発見でき、個々の学習進路等に応じた指導が可能となる等、子どもの悩みや相談にこたえる時間が確保できたなどの声が上がっており、さらなる拡充が求められている。しかし、この教育実践体制が整備されたのは、高島市長就任前の2010年度であり、それ以降、少人数学級は進んでいない。

文科省が2010年に公表した「今後の学級編制及び教職員定数の在り方に関する国民からの意見募集」でも望ましい学級規模として、80%近くの保護者が35人以下の学級を挙げている。

教育は未来への先行投資と言われている。すべての教科等で今まで以上にきめ細やかな教育を行うためにも、また子どもたちのよりよい人間関係づくりのためにも、35人以下学級が小中学校全学年で実施できる教育費の増額を図るべきと考える。

【市長答弁】

福岡市の将来を担う子どもたちを育てていくために教育の果たす役割は大変重要であると認識しており、これまで必要な教育予算を確保しながら、教育施策の推進を図っている。

35人以下学級の実施については、「新しいふくおかの教育計画」に基づき、児童生徒の発達段階に応じた教育実施体制を整備しているところであり、引き続き小中学校9年間を見通した教育活動を全市的に推進していく。

今後とも、国の動向に留意しつつ、教育委員会の意見を聴きながら、心豊かにたくましく生きる子どもたちを育てるため、教育施策をさらに充実させることができるよう努めていく。



人権講演会(津屋本町公民館)



おちいし俊則 活動報告

2014年
8月~12月



ベトナム民族アンサンブルコンサート
【10月11日】

約250名の参加をえて「コミセンわじろ」で開催しました。

志賀島の朝市で
【11月2日】

玄界灘の新鮮な魚介類が販売されています。



再生可能な自然エネルギーの活用を
【11月12日】

東区市政研究会「住みよい東区づくり隊」の第2回調査活動で、博多湾に浮かぶ「浮体式風レンズ風車」(海の中道沖)を視察しました。



集団的自衛権行使容認反対街頭演説
【12月9日】

毎月JR福工大前駅で行っている街頭演説。一内閣の考えだけで国の根幹を覆す重大な決定を国民に問うこともなく行うような政治手法は問題です。

69回目の「ヒロシマ原爆慰霊の日」



【8月6日】
今年もJR香椎駅前、マイクをとり「核兵器廃絶、集団的自衛権行使容認反対、そして平和憲法を守ろう」と、訴えました。



塩浜夏祭り
【8月23日】
私の町内は、今年は「焼きイカ」屋台が当番でした。



ボランティア活動
【11月18日】
馬出ねりんクラブの皆さんの校区清掃活動に参加しました。

森と海の再生交流事業
【11月29日】



早良区石釜地区で行われた「森と海の再生交流事業」(植樹作業)に福岡市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の一員として参加しました。



学ぶ権利の保障
【11月27日】
「第60回全国夜間中学校研究大会」(東京都大田区産業プラザ)に参加し、公立夜間中学校の取り組みを学びました。

食文化の体験交流



【12月21日】
第3回手作り餃子体験交流会を中国駐福岡総領事館3階大ホール(中央区地行浜)で開催しました。

おちいし俊則／所属委員会・協議会等

- ◆第1委員会 副委員長(総務企画局、市民局、財政局、市長室等)
- ◆議会運営委員会委員外議員
- ◆交通対策特別委員会
- 九州大学移転・跡地対策協議会
- 福岡市総合計画審議会委員

弁護士による無料法律相談を行っています。

- 日時／毎月第4木曜日 17:00~19:00
- 場所／落石俊則事務所
- 弁護士／津留雅昭
- 市議会議員／おちいし俊則

※秘密厳守、お気軽にご相談ください。
※事前に電話でご予約ください。(092-605-4541)



おちいし俊則 市政報告・ 決起集会

笑顔をつくる。



と き：2月28日(土) 14:00~15:30
と ころ：福岡リーセントホテル2F「舞鶴の間」
福岡市東区箱崎2-52-1 Tel.092-641-7741



おちいし俊則事務所
〒811-0204
福岡市東区奈多1-10-12